

# 大分商工会議所青年部 ビジョンブック

## 大分Y E G 5 ヶ年ビジョン 2024-2028

### 目 次

- |                               |         |
|-------------------------------|---------|
| 1. 大分Y E Gの新たなビジョンについて        | P.1~P.4 |
| 2. 大分Y E G中期ビジョン 2021-2023 総括 | P.5~P.7 |
| 3. さいごに                       | P.8     |

■ 作成 ■

大分商工会議所青年部  
令和5年度ビジョン委員会

# OITA YEG VISION

## 2024-2028

### 大分YEG 5ヶ年ビジョン

自由で対等な仲間と  
自主的な活動を通じて成長を実現する  
調和のとれた大分 YEG・会員になろう



自由  
対等  
自主  
成長  
調和

## 第1 策定までの経緯と前提の確認

ビジョンは、方向性として示される、大分YEGや大分YEG会員の理想像である。

既に策定されている、日本YEGの綱領、指針（昭和63年）、YEG宣言（平成4年）もビジョンの1つという位置づけである。そして、大分YEGが策定する新ビジョンは、綱領、指針、YEG宣言（以下「綱領等」という。）と整合している必要がある。

他方で、綱領等は、普段の大分YEG内での議論で参照しにくい、覚えにくい、実際の事業を検証しにくい等の問題を抱えていることも事実である。そのため、新ビジョンは、簡易明瞭であるとともに、大分YEG内ないしは大分YEG会員相互の議論の手がかりとして利用しやすいものである必要がある。

加えて、将来的にさらなるビジョンの改正や具体化を視野に入れるならば、今回策定する新ビジョンは、解釈の引出しが多様なものであったほうが望ましい。

以上の必要性等を踏まえて、新ビジョンは策定される。

## 第2 大分YEG5カ年ビジョン

「自由で対等な仲間と自主的な活動を通じて成長を実現する  
調和のとれた大分YEG・会員になろう」

指針

自由・対等・自主・成長・調和

## 第3 ビジョンの内容

### 1 5要素の関係

---

自主・成長・自由・対等・調和の5要素は、不可分一体の関係性にある。つまり、相互に軽重があるわけではない。

### 2 内容

---

#### 自由とは

許される範囲内であれば、何をすることもできるという意味である。自分の発想にブレーキをかけないこと、できる（してもよい）範囲とできない（してはいけない）範囲を自覚することも意味している。

#### 対等とは

相互に尊重しあうという意味である。誰かの言葉に耳を傾けるなら、他の誰かの言葉にも耳を傾けなければならないし、誰かに何かをさせるならそれなりの対価（金銭に限らない感謝等も含む。）が必要だということも意味している。

#### 自主とは

自分の意思を明確に持つという意味である。何をしたいか、何をしたくないか、何を言うか、何を言わないかという考えをもった言動をすること、また自ら率先して行動することである。

#### 成長とは

何かを良い方向に変化させるという意味である。自分自身、自社企業、大分YEG、地域社会をより良く改変していくこと、そして悪くしないために保守することも意味している。

#### 調和とは

自主・成長・自由・対等の4つの要素をバランスよく実現していくという意味である。どれかだけを実現することはそもそも困難だし、どれをも重視することによって、自由な会員による、対等な仲間との、自主的な活動の中から、成長を実現することができるのである。

## 第4 浸透のための方法

- 1 唱和・手帳等への記載
- 2 委員会、役員会等での積極的な利用
- 3 書式への反映
- 4 ビジョンバッチの着用
- 5 大分YEG ビジョンブックの作成

## 第5 具体化のための方法

### 1 委員会事業計画書への記載

---

- (1) 基本方針へ「自由・対等・自主・成長・調和」の言葉を反映させる。
- (2) 委員会としてビジョンに対するより具体的な行動基準、または数値化した目標を設定する。

### 2 今後各委員会で実施する事業計画書への記載

---

- (1) 各委員会主体の様々な事業計画に関し「自由・対等・自主・成長・調和」に対しどのような効果が期待出来るかを明確に記載する。

### 3 役員向け研修会実施

---

- (1) 毎年開催されている役員オリエンテーションにて、ビジョン担当委員会もしくは会長予定者が任命した者より説明と使い方を説明する。

### 4 定期的な検証

---

- (1) 委員会にて年に1度振り返りを行う。
- (2) ビジョンを扱う委員会が設立されている場合は全会員へ向けアンケートを実施するなど、全体としての振り返りを行い。次年度以降の使用方法の見直しを行う。

大分YEG中期ビジョン2021-2023

私たちは自己研鑽こそ自企業の成長と信じ、大分YEGの魅力を知郷土に発信する。仲間との縁と絆を深め、更なる飛躍を目指して次のステージへ邁進する。



スローガン

想いを一つに！新たな**STAGE**へ！

行動指針

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| <b>Study</b><br>学ぼう     | 自身の成長こそが自社の成長 |
| <b>Tell</b><br>伝えよう     | 我らは大分YEG      |
| <b>Assemble</b><br>集まろう | 研鑽と交流の場       |
| <b>Grow</b><br>育てよう     | 新たな縁と絆        |
| <b>Elevate</b><br>高めよう  | 地域発展の想い       |

## 『大分 YEG 中期ビジョン 2021-2023』の存在を知っていましたか？

---

大分 YEG 中期ビジョンの存在自体は周知が出来ていると評価できる。要因としては今まで行ってきた各会議での唱和。バッチ着用の徹底。懸垂幕/手帳/HP/総会資料などでの見える化。担当委員会の常設が考えられる。

## 『大分 YEG 中期ビジョン 2021-2023』をご覧になりましてどのような感想を持たれますか？

---

大分 YEG として目指すべき姿を形にしている点に関し高い評価がほとんどであった。しかしその中でもビジョンが何を示しているのか分からないといった声も少数あり、YEG におけるビジョンが何なのかを見える化する必要がある。

## 【行動指針】『学ぼう』自身の成長こそが自社の成長

---

インボイスの研修やほめ達といった講師を招いての研修事業に対し学びが大きかったという声や、会議の在り方や進め方なども高い評価の声が多かった。また、大分 YEG での役職や司会進行といった責任ある役割を経験する事によって成長に繋がったという声も多かった。

今後は、役員経験者を増やすことを意識し、委員会・部会でもフロア会員へ積極的に役割を担ってもらい経験して頂くことで自身の成長に活きる青年部活動にしてもらうと共に講師を招くような研修事業を望んでいる声も多く、講師を招くセミナーも継続しつつ単会内で自社での経験などを伝えられる、簡単で実行しやすい研修を考えてみても良いのかもしれない。

## 【行動指針】『伝えよう』我らは大分 YEG

---

府内戦紙を通し多くの人に知らせているといった声が多く、SNS で情報を継続して発信できている点や令和 4 年度に行った地域の清掃活動も良い広報事業であったとの声も多かった。反面、外からの見え方を振り返ると J C と混同しているのでは？といった懸念もあり青年部といった略称と呼ぶのではなく大分 YEG としっかり伝えることが重要である。また、情報発信【力】には今後も力を入れ、例年にはない企画を考えてみてはとのご意見も頂いた。

今後は府内戦紙×大分 YEG という見せ方を意識し、体外的だけでなく内部的にも「大分 YEG」という略称を浸透させ、現在の「青年部」「YEG」といった呼び方はやめる。また、SNS を始めとする新たな情報発信にも着目し、必要であれば仕事として外部に委託する事も検討が必要なのかもしれない。

## 【行動指針】『伝えよう』我らは大分 YEG

---

府内戦紙を通し多くの人に知ってもらえているといった声が最も多く、SNSで情報を継続して発信できている点や令和4年度に行った地域の清掃活動も良い広報事業であったとの声も多かった。反面、外からの見え方を振り返るとJCと混同しているのでは？といった懸念もあり青年部といった略称で呼ぶのではなく大分 YEG としっかり伝えることが重要である。また、情報発信【力】には今後も力を入れ、例年にはない企画を考えてみてはとのご意見も頂いた。

今後は府内戦紙×大分 YEG という見せ方を意識し、体外的だけでなく内部的にも「大分 YEG」という略称を浸透させ、現在の「青年部」「YEG」といった呼び方はやめる。また、SNSを始めとする新たな情報発信にも着目し、必要であれば仕事として外部に委託する事も検討が必要なかもしれない。

## 【行動指針】『集まろう』研鑽と交流の場

---

例会の開催や事業後に開催される懇親会のおかげで大きく人脈拡大に繋がったという声も多かった。また、多種多様な業種の方と繋がれることに関しても皆さん魅力を感じていた。ポジティブな回答が最も多かった結果であった。ただし、昨今の懇親会参加率の低下や特定の人物のみの参加が目立つといった課題も頂いた。

今後は参加率の低下と参加者の固定化を改善する為にもただの飲み会ではなく懇親会の参加率を高める懇親会企画の立案などが求められている。また、例会・役員会・実行委員会・委員会いずれも懇親会の開始時間が21時を超えてしまう要因も懇親会の参加率低下に繋がっている事が考えられるので、会議後だけでなく交流会をメインとした事業の開催も前向きな検討が必要である。

## 【行動指針】『育てよう』新たな縁と絆

---

ここ数年継続して実施している新入会員研修事業に対し高い評価が多かった。同様に研修事業だけでなく個人としても新入会員へ声掛けを行い、寄り添っているとの声も多く見受けられた。また、大分 YEG での役職であったり自社では経験出来ないような役割が自信を成長させてくれ、その結果が自企業で活きたという声も多かった。

今後は新入会員への研修事業は継続して行うと共に、新入会員同士での交流も共に切磋琢磨する良い機会になると考えます。また、積極的に役員や部会長といった役職を担ってもらい、経験者が傍でサポートするといった組織運営が求められている。



2020年度に策定された「大分 YEG 中期ビジョン 2021-2023」。運用開始からこの3年間では令和2年1月15日、日本でのコロナ感染者の確認を皮切りに、時代はコロナ禍へと移り変わったものの、大分 YEG では環境変化に対応し令和2年度には WEB/現地参加のハイブリット開催を実現した第38回全国会長研修会の開催。通常運行が出来ない中、出来る事をやる想いで形にした府内戦紙冬の陣 2021。諸会議においてもハイブリット開催にて臨機応変に対応し、制限付きではあるものの徐々に会員間での交流も復活してきた令和3年度～令和4年度。大分 YEG として継承した火を絶やさぬ想いがあったからこそ、令和5年度にはほぼ全ての事業が通常開催と移り変わってきました。

激動の時代に直面した大分 YEG 中期ビジョン 2021-2023。想定していた以上の困難や課題に見舞われることになったものの、だからこそ大分 YEG としてビジョンで掲げている「在るべき姿」「在りたい姿」を形にしていたことで、「出来ない」ではなく「どうやったら出来るか」という当時の会長も迷わなかったのかと思う。

今後のビジョンとしては役員を始めとする一部のリーダーが活用するのではなく、委員会にて協議し「考える時間」、そして委員会として掲げているビジョンに対しどう行動していくか「具体的な行動」が重点事項としなければならないと考えます。

令和5年度大分商工会議所青年部  
ビジョン委員会  
委員長 林 大輔

令和5年度大分商工会議所青年部ビジョン委員会

担当副会長 後藤 将芳

委員長 林 大輔

副委員長 阿南 卓

副委員長 高山 英祐

委員 赤峰 晴晃

委員 安東 雅竜

委員 衛藤 正博

委員 尾下 誠

委員 金戸 実

委員 川野 剛

委員 神田 悠介

委員 白水 さおり

委員 田中 良太

委員 中村 拓馬

委員 奈良 勇希

委員 西口 翼

委員 日野 敏徳

委員 森 康宏